

石川皐月さんと三浦正恵さんの出会いと交流

—村八分事件の調査余話—

加藤善夫

数年前から関わっている富士宮市史（近現代編）で、1952 年に起きた旧上野村での村八分事件の調査を進めてきた。現在は加瀬姓である石川皐月さんにも話を伺いに昨年（2023 年）横浜市のお宅を訪ねた。

その皐月さんと市原（旧姓三浦）正恵さんが同じ 1935 年生まれで、村八分事件をきっかけに交流を始めたことは、市原さんの回想記にも述べられている（「あの頃…激動の時代（1945～1952）の私」2006 年、静岡女性史研究会『しずおかの女たち』第八集に再録）。

事件の年、1952 年の 10 月に、緑の会編集の『純な心の記録』と題した 6 人の女子高校生（卒業を含む）の手記が文理書院から刊行された。同書には三浦正恵「マルセイエーズの歌」と石川皐月「美しき明日のために」が収められている。三浦「マルセイエーズの歌」は T（冨田三樹、のちの詩人・作家三木卓）との往復書簡 8 通を中心に、石川「美しき明日のために」は姉への書簡という形で、綴られている。二人の手記はともに、朝鮮戦争を契機に戦前回帰の様相を濃くしていく日本の状況を憂い、平和のための行動の必要性を強く訴える内容である。

『近代静岡の文化と女性—市原正恵遺稿集—』（2013 年）に収められた櫻井規順さんの「市原正恵さんの追憶」で紹介される三木卓『柴笛と地図』は小説であり、市原さんは石上光江名で登場するが、三浦「マルセイエーズの歌」はノンフィクションで二人の書簡が（恐らくそのまま）使われている点に特徴がある。講和条約・日米安保条約調印で激動する 1950 年代初頭の日本に生きる多感な高校生である二人の往復書簡からは、未来に向けより良く生きることを模索する若者の懸命さが伝わってくる。

上野村の石川さん一家に対する村八分が朝日新聞の記事となったのは、1952 年 6 月 23 日の夕刊である。それ以後事件は多くの報道に取り上げられて大きな社会問題として注目された。全国各地から皐月さんのもとに届いた激励の手紙は 2 か月足らずで千数百通にも達したが、8 月には静岡大学と静岡城内高校、

3 会計

会計担当から、現在の会員数、会費の納入状況の報告があった。会費未納者に対しては8月中にメールと郵便によって納入の督促を行うことを確認した。

4 原口清先生記念研究奨励制度の応募状況

応募論文1本。3名の会員に下審査を依頼済み。8月15日までにそれぞれの下審査結果を幹事会に提出していただき、それを幹事会の持ち回り審議に付すこととした。

5 総会準備一次期体制について

10月14日(月・スポーツの日)総会 13:20～14:00。記念講演 14:30～17:00。鎌倉文庫とZOOMで開催。

跡部さん、野澤さんから幹事退任のお申し出がありました。お二人には、これまでのご尽力に対してこの場を借りてお礼申し上げます。

(以上)

例会のお知らせ

<9月拡大例会>

日時：9月21日(土)13:00-17:00

場所：Web 会議システム Zoom/鎌倉文庫

申込方法：9月会報に掲載します。

内容：第1回原口清先生記念研究奨励
制度受賞講演・伊故海貴則氏
(北海学園大学)

場所：鎌倉文庫(静岡市駿河区森下町4
森下ビル4階) / Zoom でのオンライン
Zoom 接続方法：10月会報に掲載いたします。

<会報に原稿をお寄せください>

会報原稿は、下記のアドレスにメール
で送ってください。但し、掲載号につい
ては会報編集担当者にお任せください。
どうぞよろしくお願いいたします。

メールアドレス：cqh00053@nifty.ne.jp
(会報編集担当：川上)

<10月総会>

日時：10月14日(月・スポーツの日)

・13:20-14:00 総会

・14:30-17:00 記念講演 樋口雄彦氏
(人間文化研究機構国立歴史民俗
博物館・総合研究大学院大学教授、
本会幹事)

・テーマ「ヤスクニと旧幕臣―幕末維新
殉難者の慰霊・顕彰をめぐって―」

静岡県近代史研究会会報 第551号(月刊)

2024年8月10日

非売品(非会員は印刷実費100円)

連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室

電話：054-264-5386(直通)

年会費：4,000円(メール会員は3,500円)

ゆうちょ銀行払込口座：00850-6-54573

ホームページ：

<https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com/>